



今大会では歴代優勝者を招いて、名入り提灯の点灯式も華々しく行われました。

9月22日・23日の両日、第30回生保内節全国大会が仙北市民会館で行われました。

一般の部には141人がエントリーして、22日の予選、23日の準決勝を経て10人が決勝に進みました。その結果、浜口優花さん（大仙市）が最優秀賞に輝きました。浜口さんは小学校4年生から本格的に民謡を始めたそうで、今回は念願の優勝旗を手に入れることができました。

また、年少の部（中学生以下）では、最優秀賞に澤木美晴さん（男鹿北中2年）が選ばれました。

第30回生保内節全国大会

自慢ののどに聴衆酔いしれる

他の入賞者は次のとおりです。

《敬称略》

〔一般の部〕

▽優秀賞Ⅱ近藤みつ子（仙北市）、大川あけみ（秋田市）、成田義道（鹿角市）、中村清治（美郷町）▽敢闘賞Ⅱ栗木次夫（鹿角市）、佐藤修三（八郎潟町）、佐藤まゆみ（大館市）、川辺節子（秋田市）、藤田梅子（秋田市）

〔年少の部〕

▽優秀賞Ⅱ佐々木深里（岩手県紫波町）、谷川末采（八郎潟町）、目黒菜々香（男鹿市）

自殺予防キャンペーンで啓発



いのちの大切さ呼びかける

9月10日から16日の自殺予防週間と9月10日の「世界自殺予防デー」にちなみ、傾聴ボランティア「ア・えくほの会」と田沢湖ロータリークラブ、田沢湖駅前広場を活用する会「こまちの会」、市職員が一体となり、グランマート田沢湖店前で、自殺予防キャンペーンを行いました。

当日は行き交う買い物客に、日頃の体調を気遣った「おとうちゃん眠れている？」と印字されたト



スタッフは買い物客に自殺予防を呼びかけながら、心と体の大切さについて話していました。

イレットペーパーを配ったり、自殺予防に関するパンフレットを配ったりして、心の健康と自殺予防の啓発について熱心に呼びかけました。

仙北市こどもフェスティバル



子どもたちが大はしゃぎ

9月27日、仙北市民会館で「仙北市こどもフェスティバル」が開催されました。

会場では、劇団わらび座のミュージカルや超神ネイガールシヨールが上演されたほか、バルーンアート、ちびっこ郷土芸能発表、各種体験コーナーなど、参加型の多彩なイベントや展示が行われました。

当日は、この日を心待ちにしていた大勢の親子連れが来場するな



多くの親子連れが集まり、賑やかな雰囲気の中、楽しい休日をお過ごししました。

ど、終始賑やかな雰囲気には包まれていました。

新そばを味わう会で舌鼓



新そばの香り漂う

9月24日、角館交流センターで「新そばを味わう会」が行われました。この催しは、会員のそば屋等で構成される団体「遊楽3トピアそば会議（菅原照夫会長）」が開催したもので、このたび初めての試みです。当日は、このイベントに応募した52人の参加者が、新そばの香りやのどしを楽しみながら、そば談義に花を咲かせました。



参加者は新そばに舌鼓をうちながら、そば談義に花を咲かせていました。

して活動している団体で、10月から12月にかけては、会員のそば屋で、新そば祭り（スタンプリ）も行っています。

白岩舞茸を学校給食で提供



地産地消の拡大を図る

白岩地域運営体（菅原秀俊会長）の事業で栽培した「原木舞茸」が、10月1日、市内全域の学校給食で提供されました。

同運営体によると、この栽培事業は今年で3年目を迎え、収量が確保できたことで、給食への提供を提案したそうです。

原木舞茸は、色や大きさ、香りもよく、3地区で舞茸を使った献立メニューを作りました。芋の子汁やうどんなどで舞茸を



白岩小学校では、地元産の舞茸の美味しさに驚いた様子でした。

味わった子どもたちは、「口々に」とても美味しい」と、笑顔で給食を食べていました。

仙北市長杯争奪野球選手権大会



角館消防署が優勝

仙北市民制10周年記念「第10回仙北市長杯争奪野球選手権大会」が8月2日と9月27日の両日、落合野球場で開催されました。

決勝は、角館消防署と生保内レイカーズの対戦となり、終始安定した試合を展開した角館消防署が7対3で生保内レイカーズを下しました。なお、個人賞は次のとおりです。（敬称略）

《最優秀選手賞》

▽佐々木宏伸（角館消防署）



平成18年度以降に開催されたこの大会で、角館消防署は初優勝となりました。

《優秀選手賞》
▽坂本光二郎（生保内レイカーズ）
《敢闘賞》
▽倉橋大地（角館消防署）

100キロチャレンジマラソン



限界にチャレンジ

9月27日、角館町から北秋田市鷹巣までを走破する「2015北緯40度秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン」が開催されました。

100キロの部には県内外から1351人がエントリーし、角館交流センターを午前4時30分に、342人がエントリーした50キロの部は、秋田内陸線比立内駅近くを10時30分にスタートし、北秋田市鷹巣のゴールを目指しました。



ランナーたちは、暗闇の中スタートし、ゴールの鷹巣まで力走しました。

ランナーたちは時折雨が降る中を力走し、沿道の住民から温かい声援を送られていました。

決算



●問合せ
財政課（田沢湖庁舎） ☎ 43-1113

◎平成26年度公営企業会計・特別会計決算状況をお知らせします。

企業会計決算収支の状況

会計名	区分	収入	支出	差引
病院事業会計（計）	収益的収支	49億6,010万4千円	70億8,188万6千円	▲21億2,178万2千円
	資本的収支	5億2,658万2千円	6億3,690万9千円	
温泉事業会計	収益的収支	3,951万9千円	3,994万1千円	▲42万2千円
	資本的収支		2,913万9千円	
水道事業会計（上水）	収益的収支	2億7,675万3千円	2億8,242万4千円	▲567万1千円
	資本的収支	8,693万7千円	1億5,817万9千円	
水道事業会計（簡水）	収益的収支	9,841万円	8,781万2千円	1,059万8千円
	資本的収支	1,082万3千円	2,017万2千円	
水道事業会計（計）	収益的収支	3億7,516万3千円	3億7,023万6千円	492万7千円
	資本的収支	9,776万円	1億7,835万1千円	

※収益的収支については、消費税および地方消費税を除く。（損益計算書から）

＜用語解説＞

収益的収支【しゅうえきてき - しゅうし】

地方公営企業の経常的企業活動に伴い、年度内に発生すると見込まれるすべての収益とそれに対応するすべての費用をいうものです。したがって、減価償却費のように現金支出を伴わない支出についても費用に含まれます。

資本的収支【しほんてき - しゅうし】

効果が翌期以降にわたり、将来の収益に対応する支出とその財源となる収入のことをいいます。施設の整備や企業債の償還元金等の支出、これに要する資金としての企業債収入等も資本的収支に含まれます。

特別会計決算収支の状況

特別会計名	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 C (A-B)	繰越事業費 繰越財源 D	実質収支額 E (C-D)
集中管理	42億2,150万3千円	42億2,150万3千円			0円
下水道事業	12億2,204万9千円	12億1,938万4千円	266万5千円	247万7千円	18万8千円
集落排水事業	3億5,925万9千円	3億5,913万円	12万9千円		12万9千円
浄化槽事業	1億1,153万円	1億1,143万2千円	9万8千円		9万8千円
国民健康保険 (事業勘定)	36億3,551万1千円	35億3,051万6千円	1億499万5千円		1億499万5千円
国民健康保険 (田沢診療施設勘定)	2,859万9千円	2,855万4千円	4万5千円		4万5千円
国民健康保険 (神代診療施設勘定)	1億55万2千円	1億41万7千円	13万5千円		13万5千円
後期高齢者医療	2億9,389万4千円	2億9,233万7千円	155万7千円		155万7千円
介護保険	4億8,280万8千円	4億4,562万3千円	3,718万5千円		3,718万5千円
生保内財産区	9,095万7千円	7,190万9千円	1,904万8千円		1,904万8千円
田沢財産区	3,169万9千円	2,449万7千円	720万2千円		720万2千円
雲沢財産区	924万8千円	613万5千円	311万3千円		311万3千円
簡易水道事業	7億7,517万9千円	7億7,510万円	7万9千円		7万9千円

角館高等学校で地域との交流会



生徒たちとの交流楽しむ

9月30日、角館高等学校で角館町内の一人暮らしの高齢者と施設入所者など約80人を招待し、「地域との交流会」が行われました。この交流会は、仙北市社会福祉協議会（佐藤清雄会長）と同校の連携により毎年実施しているもので、1年生と定時制生徒のほか、大曲養護学校高等部、大曲養護学校せんぼく分校の生徒たちも参加しました。交流会では、同校インターアク



生徒たちの披露する踊りや演奏などに、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

ト部による郷土芸能・吹奏楽演奏、大曲養護学校高等部による太鼓演奏などが披露され、参加者は生徒たちとの交流を深めていきました。

社会福祉法人はなさき仙北設立



新しい一歩を踏み出す

10月1日、「社会福祉法人はなさき仙北」の設立により、小林一雄理事長に認可書の交付式が市役所田沢湖庁舎で行われました。「社会福祉法人はなさき仙北」は、平成28年4月より、市からの移譲を受けて、幼保連携型認定こども園「だしのこ園」、「神代こども園」の運営を行っていくこととなります。市では、子どもたちが主役となり、安心していただける施設の運営を目指し、充実化を図っていきます。



門脇市長から認可書を受ける「社会福祉法人はなさき仙北」の小林一雄理事長（中央）

さらにおいしくなって満足度アップ 佐竹北家の殿さま弁当「栗まんま」

平成25年度は「秋田デスティネーションキャンペーン」、平成26年度は「第29回国民文化祭・あきた2014」に向けて販売してきた佐竹北家の殿さま弁当「栗まんま」を今年度も販売することになりました。第3弾となる今回の弁当は、これまでの好評を受けて販売を検討されたもので、地場産品を活用した魅力あふれる仕上がりとなっています。完成した弁当は、仙北市の栗を大幅に増量し、栗の渋皮煮や栗コロツケも新たに取り入れ、ご飯にもち米、栗、さつまいも等を加え、全体的に栗の満足感が味わえます。販売期間は、10月3日から11月8日までで、昨年度と同様に販売期間中の土日祝祭日には、秋田内陸縦貫鉄道(株)で、1個1200円(税込)で販売しています。また、期間中の土曜日は、毎週角館温泉花葉館のレストラン「花ごよみ」で作られたてを味わうことができ、花葉館の宴会コースに組み込むことも可能です。



今回の「栗まんま」はさらなる改良を加え、栗の美味しさにとことんこだわりました。

も可能です。その他にも、10月24日・25日には、食彩・町家館前で開催される秋の味覚市等のイベントでも販売を行う予定となっています。いずれの会場も数量限定となるため、確実に手に入れたい方は、事前予約や秋田内陸縦貫鉄道(株)への取り置きをおすすめします。製造・販売は、(株)花葉館、(株)アルクの2社で行っています。弁当の予約や問い合わせは、角館温泉花葉館(☎55)5888)で受け付けています。